



せ かい ちい はな なん
世界でいちばん小さい花は何なの

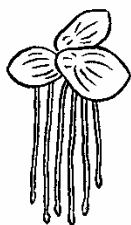
ゆうめい
ミジンコウキクサが有名

いけ すいめん みどりいろ ひろ
 池やぬまの水面に、緑色に広がっているウキクサは、だれでも見たことがあるでしょう。
 まるで、みず みどりいろ か み ちい まる は
 水が緑色に変わったように見えますが、よく見ると、小さい、丸い葉っぱだけの
 しょうぶつ なかま ぜんたい は おお
 植物がういていますね。ミジンコウキクサは、この仲間です。全体の葉の大きさが、およ
 そ0.5ミリメートルのレンズのようなかたちをしていて、ふつうのウキクサと同じように、こ
 どもの葉を次々と出して、ふえていきます。たまに、この葉の表がくぼみ、その中に、お
 しべとめしべが、ほん 1本ずつある花をつけることがあります。小さすぎて、人間の目には、全体
 が、みどり こな の粉のようにしか見えません。

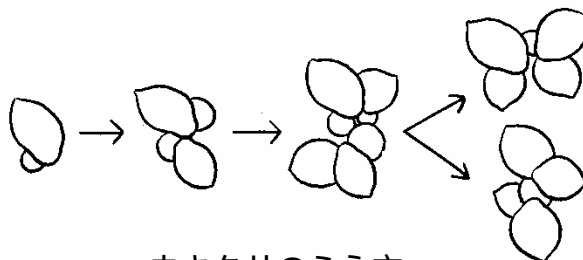
せ かい ちい はな み おも
世界でいちばん小さい花の葉の重さは、0.00007グラム

いま ちい はな しょうぶつ きろく はっけん
 今、いちばん小さい花をつける植物で記録があるのは、オーストラリアで発見された、
 ミジンコウキクサによく似たウキクサです。葉のような部分は、ながさが0.6ミリメートル、
 はばが0.33ミリメートル、おもさ0.00015グラムで、はなあとできるみはおも
 さが0.00007グラムというちい小ささです。

これらのウキクサは、はな さ たね こ は だ
 花が咲いてできる種でふえるのではなく、子どもの葉を出してふえ
 ていきます。そして、わたりとり みずとり からだ とお いけ はこ
 wati-ori, mizu-ori, karada, too, ike, hako
 わたり鳥や、水鳥などの体にくっついて、遠くの池などに運ばれ、
 ふえひろがるといわれています。(監修・矢野 亮)



ウキクサ



ウキクサのふえ方

